

たらぎ文化財カルタ vol.4



「太田家住宅」(国指定) 多良木 中原

太田家は、相良藩の家臣として人吉に住居がありましたが、多良木に移り農業と酒造業を営んでいたと伝えられています。住宅は江戸時代に造作されたもので、昭和48年に国の重要文化財に指定されました。家屋は、寄せ棟造りの茅葺き屋根を2カ所折り曲げて、前後に突出部のある曲屋風の建物です。「ざしき」「あらけ」の部分と「だいどころ」「どま」の部分の棟とを平行にして、前後にずらし「なんど」の部分でつないだ形は、人吉球磨地方の鉤屋を代表するものです。内部の梁はかなり大きいものですが、柱は細く土壁が少なく板壁の多いのも特色です。「だいどころ」には、天保十年(1839)製の米びつが置いてあり、家屋の造られた頃のものかと思われます。

産業現場等における実習・校内実習 (職場見学) に取り組みました

～22箇所の障がい者支援施設や事業所の皆様お世話になりました～

球磨支援学校 高等部



産業現場等における実習は、高等部2・3年生が取り組みました。6月17日(月)から28日(金)までの10日間、22箇所の障がい者支援施設や事業所で実習に臨みました。途中、大雨注意報が出たりして気をもむ日もありましたが、10日間無事に終了することができました。実習の度に思うこと

ですが、それぞれの職場で、時間をさいて指導・支援をしていただき、本当に感謝の気持ちで一杯です。今後は、評価していただいたことを、学校の様々な活動に生かしていくことで、お返しをしていきたいと思ひます。また、1年生は校内実習や職場見学をしました。11月の産業現場等における実習に向けた事前の学習にもなりますが、仕事の提供や施設見学をさせていただいた、事業所や障がい者支援施設の皆様、本当にありがとうございました。このような産業現場等における実習・校内実習は、高等部卒業後の進路を考えたり、働く力をつけたりする機会として、大切にしている活動です。今後も、感謝の気持ちを忘れず、卒業後の生活に必要な力が身につくよう努力していきたいと思ひます。



(原稿・写真提供：球磨支援学校)

自動車・バイク

● 車に乗るとき、全席シートベルト着用

● 体調万全、運転は慎重に



● ヘルメット、しっかりとぶって締め



園児紹介

むつみ保育園



ばら組(30名) 担任：土屋直美先生

現在園庭で野菜を育てています。水やりなどお世話を交代で行い、収穫した野菜を給食で食べることで、苦手な野菜を食べられるようになりました。また先日お泊り保育を経験したことで、おうちの方と離れて、1人で泊まれたことなどから、年長組としての自信を更に持てるようになりました。

スタッフ紹介

熊日多良木・湯前販売センターに新しく3名のスタッフが加わりました。訪問した際はよろしくお願ひ致します。



尾方 美里香

この度、熊日をご愛読頂いているお宅を訪問させて頂いてます、尾方美里香です。どうぞよろしくお願ひ致します。



右田 真美

熊日新聞を購読して頂いているお宅を訪問しています。伺ったときには、よろしくお願ひ致します。毎日暑いですが、頑張ります!!



山下 伸介

熊日新聞の仕事に就いて日も浅く経験も少ないですが、読者の皆様方にスピーディーかつ円滑に情報をお届けすることをモットーに、精一杯頑張っていきたいと思ひております。どうぞ宜しくお願ひ致します。

多良木警察署だより

高齢者の交通安全

歩行時

● 渡る前、必ず止まって右、左車の直前直後の横断は危険



● 渡る時、必ず利用 横断歩道 横断歩道外の横断は危険

● 暗い道、明るい服装、反射材 明るい服装と反射材を活用、夜間の黒っぽい服装は危険



自転車



● 危険、急な進路変更

● 交差点では、必ず安全確認

(原稿提供・多良木警察署)

